

水質保全みえ

No.68

平成25年1月

発行／(社)三重県水質保全協会 〒514-0004 津市栄町三丁目119

TEL 059-226-2058 FAX 059-227-8402

<http://www.mieken-suisituhogenkyokai.or.jp/>

目 次

・新年の挨拶 会長	2
・年頭の御挨拶 知事	3
・年頭の御挨拶 三重県水質検査センター 吉田理事長	4
・平成24年度10／1浄化槽大会出席	5
・8月6日自民党要望書提出	6
・啓発資材の貸出しについて	8
・協会会議等の事業報告	9
・浄化槽管理士講習・浄化槽技術管理者講習会 実施案内	10
・浄化槽についての問題	11
・お知らせ	12

迎 春

2013



社団法人 三重県水質保全協会



新年の挨拶

社団法人 三重県水質保全協会

会長 松平仁

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素より当協会事業につきまして、格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

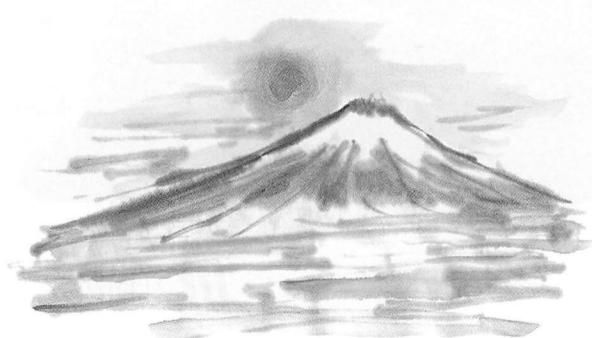
来年度も会員の皆様のご期待に添えるよう、また、協会の発展の為、尽力を尽くしていく所存でございますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

平成25年度より浄化槽設置整備事業の新設浄化槽に対する県費の助成金が半額に減額され、平成26年度から県費の助成金が廃止予定です。そうなると浄化槽設置整備事業を実施する市町が激減することが予想されます。助成制度がなくなることに伴って、浄化槽の施工品質の低下が起こらないように県及び市町と協議をし、会員の研修会及び講習会等を活発に行い、これらの活動を通じて県民の皆様に高品質の浄化槽施工を提供し、生活環境の向上に寄与することを目的に取り組んでまいりたいと思います。

そして、平成25年は、新しく生まれ変わる年になります。公益法人改革が平成25年11月に期限が迫る中、三重県水質保全協会は、平成25年4月より、一般社団法人化に向けて取り組んでいる次第であります。

会員の皆様に期待される協会を築きあげていくため、今後ともご協力、ご指導を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、皆様のますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして新年の挨拶とさせて頂きます。





年頭の御挨拶

三重県知事

鈴木 英敬

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は、本県の浄化槽行政の推進にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、日本は、今、大規模な自然災害の頻発、人口減少社会と超高齢化社会の本格的な到来など、明治維新、第二次世界大戦の終戦に次ぐ、「第三の分水嶺」ともいるべき大きな転換期を迎えていきます。

このような厳しい状況のもと、本県では、昨年、県民の皆さんとともに新しい三重づくりに取り組むための指針として、「みえ県民力ビジョン」を策定し、「幸福実感日本一」の三重をめざし、県政運営に取り組んでいます。

特に、水環境の保全については、伊勢湾における「化学的酸素要求量、窒素含有量及びりん含有量に係る総量削減計画」（第7次）に基づき、工場・事業場等からの汚濁負荷を一層削減するとともに、生活排水対策については、浄化槽、下水道、集落排水施設等の効率的・効果的な整備を進めることとしています。

昨年8月には、人口減少等の社会情勢や経済情勢の変化をふまえ、三重県生活排水処理アクションプログラムを見直し、地域の実情に応じて最適な手法による生活排水処理施設の整備を推進しています。

さらに、浄化槽では、改正した県補助金制度を活用し、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換および市町村設置型浄化槽の整備を促進することとしています。

本県の生活排水処理施設の整備率は、平成23年度末で79.1%と、概ね8割に届く状況にきて います。こうした中、県内の浄化槽設置基数は平成22年度末で約21万基と、全国的に見ても浄化槽の割合が高く、本県においては、水環境の保全を図るうえで、浄化槽の果たす役割は大きいと考えています。

一方、浄化槽の機能を十分に發揮し、良好な放流水質を維持するためには、適正な施工、保守点検、清掃、及び法定検査が重要です。

貴協会の皆様方におかれましては、さらなる技術の研鑽に努められ、引き続き浄化槽の適正な施工と維持管理にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝と貴協会の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭の御挨拶

一般財団法人三重県水質検査センター

理事長 吉田 弘一

新年あけましておめでとうございます。平成25年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

貴協会及び会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は弊センターの法定検査事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、弊センターは一昨年11月に浄化槽関係業界の皆様方のご尽力により設立され、昨年4月には貴協会から法定検査事業を引き継ぎました。以後順調に法定検査事業を運営しておりますのも、平成7年度から貴協会が積み上げられたご努力のたまものであると大変感謝いたしております。

新しい年を迎える、貴協会におかれましては公益法人制度改革への対応という大きな節目の年であるかと存じます。これまで地道に取組まれてきた会員様相互の研鑽及び浄化槽維持管理に関する啓発等は、新しい制度においても大変重要な活動に位置付けされるものと拝察しており、将来更に積極的に事業展開していくものとご期待いたしております。

また、貴協会の事業活動が三重県の水環境保全及び公衆衛生の向上に寄与するとともに、貴協会及び会員の皆様がますますご発展、ご活躍されますことを切に願っております。

最後になりましたが、今後とも引き続き弊センターの法定検査事業へのご支援とご指導をお願い申し上げ、貴協会及び会員の皆様にとって幸多き年でありますよう祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

平成25年元旦

10月1日浄化槽大会出席



会場風景



松平会長と石破幹事長

平成24年10月1日、東京にて行われました、「第26回全国浄化槽大会」に三重県水質保全協会からは、松平会長、川上事務局長が出席されました。

式典は午後二時から始まり、冒頭の挨拶には「浄化槽の日」実行委員会が代表し、全浄連の上山健治郎会長が挨拶されました。

続いて浄化槽適正整備推進決議の採択が行われ、社団法人浄化槽システム協会の二俣一登会長が浄化槽の適正な普及促進など5項目の決議文を読み、満場一致で採択されました。

功労者表彰は、環境大臣表彰で27名、国土交通省土地・建設産業局長表彰で5名、国土交通省住宅局長表彰で4名、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長表彰で23名が受賞されました。

浄化槽大会標語の入賞作品は、最優秀賞に「地球にやさしく、災害に強い浄化槽」が選ばれ、さらに優秀賞で2作品、学生の部で1作品が入賞されました。

その後の記念講演では、かつて日本環境整備教育センターに所属し、現在は富士常葉大学で教授を務める小川浩氏が「下水道か？浄化槽か？未来につなげる生活排水対策」にテーマで講演していただきました。

午後5時からは懇親会が開かれ、多数の与野党議員、関係省幹部が駆けつけました。

来賓挨拶では、細野環境大臣（当時）、石破幹事長、公明党の山口代表が挨拶されました。その後、乾杯の挨拶には、元環境大臣の斎藤鉄夫公明党幹事長代行が立ち、午後6時半まで、参加者一同親睦を深めました。

8月6日自民党要望書提出



会場全体風景

平成24年8月6日自由民主党三重県支部連合会に要望書を提出致しました。

その後、三重県環境生活部から、回答を頂きましたので、お知らせいたします。

自民党友好団体・職域支部要望事項に対する回答

要望事項	回答
<団体名> 社団法人 三重県水質保全協会	
(1) 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を早急に図るため法改正とこれに伴う経費の公費負担制度の抜本的見直しの実施 県内浄化槽17・6万基の48%を占める単独処理浄化槽については、公共用海域の水環境保全などの観点から合併化は喫緊の課題であり、いつまでも放置することはできません。問題解決には、法改正とこれに伴う経費の公費負担制度の抜本的見直	<p>平成22年度末の県内浄化槽設置基數（県浄化槽台帳データ）は約21万基ですが、このうち単独処理浄化槽は約11万基とおよそ半数を占めており、また、汲み取り世帯が多数残されていることから、伊勢湾をはじめとした公共用海域の水質改善を図るために、単独処理浄化槽及び汲み取りから合併処理浄化槽への転換を進めることが重要となっています。</p> <p>このため県では、非常に厳しい財政情勢の中、効率的・効果的な単独処理浄化槽や汲み取りからの転換促進を図るため、市町とも協議を進めながら県費補助制度の見直しについて検討を進め、本年度から、新たに合併処理浄化槽への転換に係る上乗せ県費補助制度を創設しました。</p> <p>また、設置時の個人負担が少なく、市町による計画的な整備が見込まれる市町村設置型浄化槽整備事業を推進するため、新たに同事業の導入調査に係る県費補助制度を創設したところです。</p> <p>今後は、これらを見直した補助制度の効果を検証しつつ、同制度を活用し、単独処理浄化槽や汲み取りから合併処理浄化槽</p>

要 望 事 項	回 答
しが必要であります。	<p>への転換を進めていくこととしています。</p> <p>県としましては、関係各部が一体となり、なた、市町とも緊密に連携しつつ、生活排水処理プログラムに基づき、引き続き生活排水対策を推進していくこととしておりますので、貴団体におかれましては、こうした状況をご覧の上、今後とも、合併処理浄化槽の普及促進にご協力くださるよう、よろしくお願い申し上げます。</p>
<p>(2) 浄化槽の維持管理費に対する助成制度の創設</p> <p>浄化槽の維持管理費（保守点検・清掃・法定検査）に対して、国の補助制度はありません。市町では下水道の家庭使用料を補助するために、浄化槽使用家庭からの税金も入っている一般会計から下水道特別会計に補填がされています。浄化槽使用家庭に対しても、下水道使用家庭同様の維持管理費助成がなされるべきであります。</p>	<p>浄化槽の維持管理に対する助成制度については、都道府県では事例がなく、平成23年度浄化槽行政に関する調査によると、全国177の市町村において保守点検・清掃・法定検査費用や電気代を対象（一部費用のみを対象とする市町村あり）として実施されており、現状では全国的に市町村単位での助成措置となっているところです。</p> <p>下水道と浄化槽の維持管理費の格差は地域により実情が異なることから、浄化槽の維持管理に対する支援制度については、基本的に市町において検討されるのが適当であると考えています。</p>  <p style="text-align: right;">松平会長挨拶</p>



啓発資料の貸出しを行っています

貸出しの際は所定の手続きを行ってください。詳細は事務局までお問い合わせください。

①淨化槽モデル	1/2縮小モデル
	1/6縮小モデル
	1/8縮小モデル
②パネル	管理者の責務
	淨化槽の上にものを置かないでください
	トイレ専用ペーパーを使用してください
	使用後は水を正しく流してください
	ぱっ気型では、電源を絶対に切らないでください
	通気装置はふさがないでください
	便器の清掃には薬品を使わないでください
	消毒等が切れないように注意してください
	淨化槽の取り扱いルール
	合併処理淨化槽のしくみ
	淨化槽ってなんですか？
	小型合併処理淨化槽のしくみ
③のぼり旗	生活排水の淨化のしくみ
	淨化槽の維持管理
	「合併処理淨化槽」白
	「合併処理淨化槽」緑
④ビデオ	「合併処理淨化槽」青
	旗の棒
	きれいな水を自然に返そう
	見つめて！私たちの水辺
	きれいな排水 快適生活
	合併淨化槽のすすめ

●協会会議等の事業報告●

平成24年 1月

20日 伊勢新聞政経懇話会

平成24年 2月

7日 全体部会
28日 第7回理事会

平成24年 3月

13日 第3回臨時総会
23日 第8回理事会

平成24年 4月

19日 平成24年度第1回臨時総会

平成24年 5月

29日 第28回通常総会

平成24年 6月

5日 第1回総務委員会
19日 第2回総務委員会

平成24年 7月

4日 第3回総務委員会
31日～8／1日 全浄連東海支部会議

平成24年 8月

6日 自民党要望書提出

平成24年 9月

4日 第4回総務委員会
12日 メーカ一部会
20日 全浄連会議出席

平成24年10月

1日 第26回浄化槽大会出席

平成24年11月

7日 メーカ一部会
22日 メーカ一部会

浄化槽管理士講習・浄化槽技術管理者講習会実施案内

平成24年度「浄化槽管理士講習」実施案内

開催場所及び日程（受付期間が平成25年1月以降の分）

開催場所	講習期間	受付期間	受講申請受付機関
東京会場	平成25年 3月4日(月)～3月16日(土)	平成25年 1月28日(月)～2月4日(月)	(公財)日本環境整備教育センター TEL: 03-3635-4880
福岡会場	平成25年 2月25日(月)～2月9日(土)	平成25年 1月18日(金)～1月25日(金)	(一財)福岡県浄化槽協会 TEL: 092-947-1800

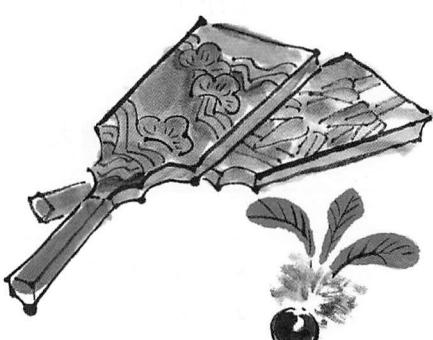
- 受講資格 学歴・実務経験等の資格要件は特にありません。
- 受講料 129,700円（浄化槽設備士資格取得者で受講一部免除を選択する方は120,200円）
- 受講申請 受講申請書は上記受講申請受付機関より入手してください。
1部300円（郵送の場合は送料込1部440円）
- 問い合わせ先 (公財)日本環境整備教育センター
〒130-0024 東京都墨田区菊川2-23-3 TEL: 03-3635-4880
(社)全国浄化槽団体連合会
〒162-0844 東京都新宿区市ヶ谷八幡町13 東京洋服会館7階 TEL: 03-3267-9757

平成24年度「浄化槽管理士講習」実施案内

開催場所及び日程（受付期間が平成25年1月以降の分）

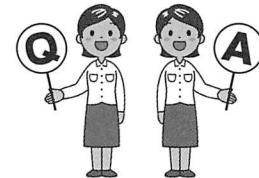
開催場所	講習期間	受付期間	受講申請受付機関
東京会場	平成25年 2月26日(火)～2月28日(木)	平成25年 1月21日(月)～1月28日(月)	(公財)日本環境整備教育センター TEL: 03-3635-4880

- 受講資格 浄化槽管理士であること。
- 受講料 49,000円
- 受講申請 受講申請書（無料）は上記受講申請受付機関より入手してください。
- 問い合わせ先 (公財)日本環境整備教育センター
〒130-0024 東京都墨田区菊川2-23-3 TEL: 03-3635-4880
(社)全国浄化槽団体連合会
〒162-0844 東京都新宿区市ヶ谷八幡町13 東京洋服会館7階 TEL: 03-3267-9757

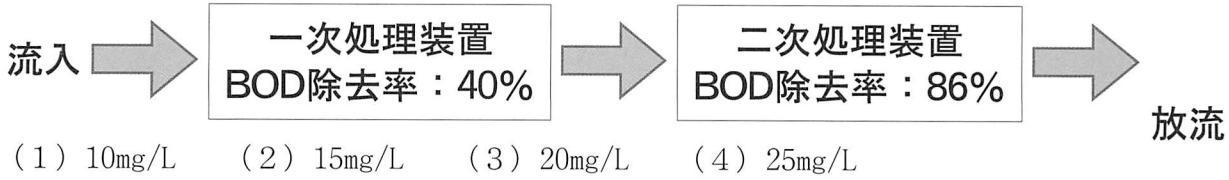


浄化槽についての問題です

- 浄化槽についての問題です。いくつわかるでしょうか。(答えは下に)



- ① 換気に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれでしょうか。
- 換気方式には機械換気と自然換気があり、換気量の確保が確実な方法は機械換気である。
 - 機械換気には送風機の設置位置により3種類の方式があり、方式によって室内の圧力バランスを変えることが可能である。
 - 第1種機械換気方式は、給気と排気をともに送風機によって機械的に行う方式である。
 - 第3種機械換気方式は、給気側に送風機を設置し、排気側は自然排気とする方式である。
- ② 流体に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれでしょうか。
- 密度が一定の流体が管路内を定常で流れている場合、どの断面でも流量は等しい。
 - 流体の場合、どれくらい早く流れているかを表す量を流速といい、単位は速度と同じである。
 - 流体のエネルギー保存則をベルヌーイの定理と呼び、摩擦エネルギーが含まれている。
 - 密度が一定の流体が管路内を定常で流れている場合、管の断面積が小さくなれば、これに応じて流速は大きくなる。
- ③ 富栄養化が進行した湖沼に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれでしょうか。
- 窒素やリンの濃度が増加する。
 - プランクトン量が増加する。
 - 表水層の溶存酸素濃度が減少する。
 - 透明度が減少する。
- ④ 次のフローシートに従って水量1.4m³/日、BOD濃度180mg/Lの生活排水を処理すると仮定した場合、理論上の放流水BOD濃度として、最も近い値はどれでしょうか。



答え：① (4)、② (3)、③ (3)、④ (2)

現在の会員数

会員別	部会	会員数
正会員	施工	130
	保守点検	42
	清掃	25
	メーカー	19
小計		216
賛助会員		2
特別会員		1
合計		219

(平成24年11月30日現在)



お知らせ

年末年始は12月29日(土)～1月3日(木)まで
お休みさせていただきます。
受付業務は1月4日(金)から始めます。
ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。



謹 賀 新 年

会長	松平	仁郎	理事	大芦	森省	三也
副会長	田邊	三郎	"	木村	和勇	登誠
"	強力	宏信	"	宝門	勇夫	夫政
"	豊田	和人	"	岩澤	理義	敬浩
"	西田	太洋	"	藤田	周孝	浩卓
理事	馬田	道泰	"	浦原	田原	廣巳
"	北田	富三	"	向田	垣田	英
"	柴原	行正	監事	西新	瀬川	
"	吉村	哲夫	"	尾上		
"	中村	盛満	"			
"	中村	英司	"			
"	福井	清	事務局長	川		